



下野市立石橋小学校

校長室だより

令和6年7月1日発行 文責 川島 啓

教育目標

「ふるさとを愛し
未来を拓く 石小っ子」

目指す児童像

◇自ら考える子

◇豊かな心をもつ子

◇健康でたくましい子

◎元気なあいさつのできる子



今年の6月は、この石橋小に来てから初めてと言っていい程、時間がいくらあっても足りない、充実の毎日となりました。先生方の授業を観察し面接を行ったり、先生方とじっくりと懇談させていただいたり、他にも取り組みたいことを抱えながら、分刻みの動静となりました。世間では、教員の働き方改革が大きく取り上げられ、私たちに直結する話ではありますが、日々の教育活動や学校行事、PTAや保護者の皆様、地域の皆様との連携や交流などに取り組む中では、残念ではありますが、少し遠いお話のような感覚があります。教員と呼ばれるとてもやり甲斐のある仕事のことを、人間教育という現場を、多くの方にもっと知ってもらいたいと思うと同時に、私たちが働くことを楽しみながら、携わることができる現場となるようにしていくのも私としては、大切にしていかなければと思っています。多くの方に支えられている石橋小であるからこそ、学校と地域の皆様・保護者の皆様と、よりよい石橋小のイメージを共有しながら、子供たちの笑顔や笑い声があふれる学校づくりを進めていきたいと改めて実感した6月でした。

修学旅行で学んだこと

今年度の修学旅行を予定通り実施しました。6月6日(木)、7日(金)は、6年生の修学旅行でした。鎌倉・



横浜方面に、栃木交通観光バス等を使用して行きました。1日目の鎌倉では、高德院の鎌倉大仏を見た後、班別活動で各史跡や小町通りなどで買い物を体験しました。鶴岡八幡宮に集合して、バスで宿泊場所のローズホテル横浜に移動しました。夕食は中華街大飯店で中華料理をいただき、山下公園散歩で横浜の夜景を堪能しました。2日目は横浜八景島シーパラダイスで班別活動を行い、水族館やアトラクションを楽しみました。混雑などで多少の遅れはありましたが、参加者全員無事帰校することができました。ご協力ありがとうございました。



そんな中、鎌倉・横浜で行われた様々な活動を通して、あらためて石橋小学校のよさと、先生方の素晴らしさに触れましたので、ご報告させていただきます。私が修学旅行で学ばせていただいたことは以下の通りです。

6年担任の口から発せられる言葉は、常に一つです。「考えて」、子どもたちから様々な質問が出てきます。「これはどうすればいいですか」「次は何をするのですか」「どうすべきか」「何をすべきか」。そうです、これが学習のスタートです。これを解決することが今回の学びです。

6年生の子どもたちは、「しおりを見よう」、「この計画のはずだ」、「たぶんここに駅があるから、こちらに行ってみよう」、試行錯誤の中で、友達と協力し、次々に課題をクリアーしていきます。さらに子どもたちの学びは深まっていきます。ここで食べるのは迷惑だ、この場所は静かにしないと、道を譲ったり、お礼や感謝の言葉を述べたり、子どもたちのよさが次々と現れてきました。

「それはやってはいけません。」「だめ。」「やめなさい。」我々教師は、つい子どもたちに言ってしまいます。気がつく、行動を制限する言葉ばかりかけてしまいます。本校6年生の子どもたちは、「こうしなさい」と言わなくても、自



分たちで考え、判断し、実行することができる素晴らしい子どもたちです。

ホテルの支配人が、到着後すぐに、部屋に行くため集団で待っていたエレベータ乗り場で、とても静かに、一般客を気遣い、乗ることを譲る本校6年生の姿をみて、ひどく感動したとお褒めの言葉をいただきました。興奮がちに私に対して、「こんな子どもたちは今まで見たことがない」と話しかける姿が印象的でした。素晴らしい子どもたちを育ていただき、誠に感謝です。



「認めて 褒めて 励まして、信じて 待って 見届ける」石橋小学校の教職員は、誰もが胸に抱く言葉となればうれしいです。

引き渡し訓練を実施しました

6月12日(水)に第二回避難訓練及び引き渡し訓練を実施しました。今回の避難訓練は地震が起きた



想定で、より実働訓練となるよう、余震も起きた想定で行われました。児童は全員真剣に訓練に取り組むことができました。校長講話では、『災害は、いつ、どこで、起こるか、分かりません。登校中、下校中かもしれません。どんな災害が起こるかも分かりません。だから、自分の命を自分で守ることができる子にならないといけません。自分の命を自分で守る方法の一つが、「落ち着いて、危険なことから遠ざかる」ことです。』と伝えました。その後保護者の皆様のご協力により、全児童の引き渡し訓練を行うことができました。



特に【引き渡しの注意点】として以下のことが徹底されました。

- ①保護者に児童名、児童に保護者名を聞き児童を引き渡す。
- ②保護者以外でも、名前を聞き、引取人カード及び引き渡しカードに名前があれば児童に確認し、間違えのない場合には、すぐに引き渡す。
- ③引取人カード及び引き渡しカードに記入がない者が引き取りに来た場合は、誰な

のかを確認し、名簿にサインしてもらう。

※児童を迎えに来ている人が誰なのか言ってもらおう。

保護者等からの自己紹介では引き渡さない。

引き渡し後、児童名簿にチェックを入れ、引き渡し完了となる。

細かいようですが、この徹底が児童1人1人の安全を決定することとなるとご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



なお、本年度は車で来校いただい方も、マナーよく実施いただき、誠にうれしく思います。ありがとうございました。

各学年の校外学習

1年校外学習(大松山運動公園)

2年生活科(図書館見学)

3年遠足(モビリティリゾートもてぎ)

